岡山の大学へ行こう!

vol.2 輝く学生たち

岡山県内の大学の魅力を紹介する「岡山の大学へ行こう!」。シリーズ第2回は、夢に向かって岡山県内の大学に進学し、充実したキャンパスライフを送る学生たちに注目。大学を選んだ理由をはじめ、力を入れている勉強、将来の目標などについてインタビューしました。

〈企画・制作／山陽新聞社広告本部〉

Open Campus Schedule 2019

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

8月4日(日)☆・17日(土)△
10月19日(土)※・20日(日)※、2020年3月15日(日)◎
◎医療福祉大学、医療短期大学、川崎リハビリテーション学院による3校合同。☆医福大のみ。△医療短大のみ。※学園祭と同時開催。

川崎学園アドミッションセンター
☎(086)464-1064
https://w.kawasaki-m.ac.jp

大学公式サイトはこちら

川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学

医療に貢献する診療情報管理士に

川崎医療福祉大学
医療福祉マネジメント学部
医療情報学科 3年
伊吹 佳美さん
岡山県立笠岡商業高校卒

充実した環境で情報管理を学ぶ

診療情報管理士は、医療機関で患者の検査・診断・治療にかかわる情報を管理する日本病院会などの認定資格で、認定を受けた大学などで3年間学び、指定科目を履修すると受験資格を得られます。高校時代にこの資格を知り、情報の電子化が進む医療現場で需要の高い仕事だと分かり、目指すようになりました。本学は全国の大学で初めての認定校で、岡山県内の大学では唯一です。

受験資格を取得するための指定科目「臨床医学」では、医療現場を熟知した臨床医による講義を受けることができ、実際の画像などを基に医学に関する知識が習得できます。また、同じく指定科目「病院実習」は、3年次の4月から6週間行われます。実習先として、川崎医科大学附属病院(倉敷市松島)と川崎医科大学総合医療センター(岡山市北区中山下)の二つの大学病院があり、充実した最新設備の実習環境で学ぶことができるのも魅力です。私は、実習で電子カルテの流れ、システム障害の対処法などを学び、改めて情報管理は病院の根幹を担う重要な仕事だと感じることができました。

診療情報管理士の認定試験は3年次の2月にあり、対策講座など学内でのきめ細かいサポートを受け、合格を目指して頑張っています。

診療情報管理士を目指して演習に取り組む伊吹さん

〒701-0193 倉敷市松島288　川崎学園アドミッションセンター ☎(086)464-1064